

防災特集

災害から命を守るためにできること

線状降水帯による大雨などが引き起こす被害が毎年のように発生しています。大雨災害に備え、事前に準備しておくことが重要です。
固河川防災課 ☎504-2664、☎504-2802

防災士親子が教える 三つのポイント

安芸区に住む大橋さん一家は、父親の昌さん(50・左写真中央)と三男の劉くん(14・同左)、四男の潤くん(13・同右)の3人が防災士。災害から命を守るための三つのポイント(下記)を教えてくださいました

備えと心構え、話し合いが大切

2018年、西日本豪雨に見舞われた安芸区矢野。川が氾濫し、自分たちが住む地域の甚大な被害を目の当たりにした劉さんと潤くん兄弟は、以前から防災士だった父親の背中を追いかけ、「災害時、自分たちも地域の役に立ちたい」と勉勉強。その後、防災士の資格を取りました。「とにかく日頃の備えが大切」という3人。次のように話します。

自分の地域がどんなところが調べて、避難場所、避難ルートを確認しておいてほしい

大雨の時は、「自分は大丈夫」と思わず、周りを確認して早めの避難を心掛けて

自分がいけないときは、この2人が妹2人(右写真)や近所の高齢者と一緒に避難することなどを決めています。災害を想定して、家族や近所の人とどうするか話し合っておくといひです



わがまち防災マップで地域の防災情報を確認

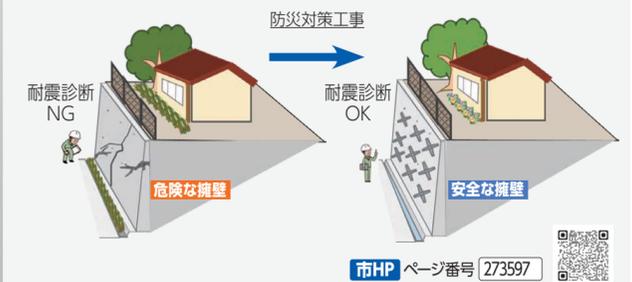
補助金で住宅の崖崩れ対策

大雨などによる崖崩れを事前に防ぐため、市は、崖崩れ対策を行う費用の一部を補助しています。
固河川防災課 ☎504-2377、☎504-2458

補助対象:戸建住宅、集合住宅の一定要件を満たす擁壁の耐震改修や崖崩れ対策などの工事費用の一部
※いずれも補助の対象となる事業や工事の契約前、着手前に申請が必要です。事業や工事の実施後は対象になりません

住宅防災対策工事補助金

地震により倒壊の危険性があると判断された住宅などの基礎となる擁壁に対し、耐震改修工事を行うための費用の一部を補助します



市HP ページ番号 273597

住宅減災対策工事補助金

崖崩れの発生が予想される崖や、崖崩れが発生し二次災害の危険性が予想される崖に対し、対策工事を行うための費用の一部を補助します



市HP ページ番号 273642

1 知っておく

自分の周りの危険性を知る



自宅が危険かどうか、ハザードマップなどで必ず確認を!

土砂災害や洪水など、色で危険な場所が分かるよ

ハザードマップ

ハザードマップを確認

「土砂」「洪水」「内水」「ため池」「津波」といった災害の種類に応じた危険な区域を確認することができます。

自宅がある場所に色が塗られている場合は、災害の危険がありますので、調べておきましょう。

ハザードマップは、市防災情報サイトからダウンロードを。区地域起こし推進課でも配布しています。



「わがまち防災マップ」のご活用を

地域の皆さんが、土砂災害警戒区域などの危険情報を基に、地域の危険箇所や避難場所などの地域独自の情報を盛り込んだ防災マップです。

わがまち防災マップは、区地域起こし推進課でも配布しています。詳しくは、お住まいの区の同課にお問い合わせください。

市HP ページ番号 201176

区地域起こし推進課 (ファクスは6ヶ所)

区	電話	区	電話	区	電話	区	電話
中	504-2820	南	250-8935	安佐南	831-4926	安芸	821-4905
東	568-7704	西	532-1023	安佐北	819-3905	佐伯	943-9704

2 決めておく

避難場所やルートを決めておく



避難誘導アプリは、災害が発生する前のべき行動や、避難場所へのルートなどを教えてくれるよ

事前にダウンロードしておけば、安心だね!

避難誘導アプリ (非常モード時の画面イメージ)

避難誘導アプリを活用

開設避難所を速やかに確認するには、避難誘導アプリ「避難所へGo!」が便利です。避難場所(市民と市政6月1日号各版(東区版は5月1日号)に掲載)は、ハザードマップや市防災ポータルでも確認できます。

大切な「命」を守るアプリ「避難所へGo!」

最寄りの開設避難所へのルート表示機能や、避難情報などの通知機能があり、危険な場所の確認もできます。大雨に備えて、事前にダウンロードしておきましょう。

自宅が危険な場合は避難

いざというときにすぐに避難できるよう、あらかじめ避難先を決めておきましょう。避難先は、安全な場所にある次のところを参考に検討しましょう。

- 親戚・知人宅
- ホテル・旅館
- 学校など、市が指定した避難場所 など

※避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる場合は、避難する必要はありません

3 情報を入力し、避難する

最新情報を入力し、警戒レベルに応じた行動をとる

警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難行動を確認 大雨・洪水・高潮注意報 危険な区域、避難場所、避難経路の確認	高齢者等避難 避難に時間がかかる人は避難	全員避難 避難指示 非常持ち出し品を持ってすぐに避難	安全確保 緊急安全確保 少しでも安全な行動を

避難に時間がかかる人は警戒レベル3、他のみんなも警戒レベル4までに必ず避難を!



どのタイミングで避難を始めるか家族で事前に話し合っておいてね

※避難情報(警戒レベル)は、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などの危険な区域にいる人に対して、小学校区ごとに発令されます。事前に自宅などの小学校区を調べておきましょう

※警戒レベル1は早期注意情報。最新の防災情報を入力し、災害への心構えを高めましょう
※警戒レベル5は、災害の発生・切迫を把握できた場合に可能な範囲で発令される情報で、必ず発令されるものではありません

出歩くと危険! そんな時は「垂直避難」

真夜中や土砂降りの中など、出歩くことで、かえって危険度が増す場合は、近くの頑丈な建物や自宅の2階以上に移動する「垂直避難」など、少しでも安全な行動をしてください。



市防災情報メールや公式 SNS で情報入手

さまざまなツールで、情報が発信されます。自分に合った方法で防災情報が手元に届くようにしておきましょう。

市防災情報メール



市公式LINEアカウント



- 避難誘導アプリ「避難所へGo!」
- 市公式SNS(X、Facebook)
- 市防災ポータル
- テレビ(データ放送)
- 防災行政無線
- 緊急速報メール
- サイレン など

非常持ち出し品リスト 両手が使えるようリュックサックなどで、家族の人数分用意しましょう。

- 水(500mlのペットボトル3本程度)
 - 非常食(缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
 - 懐中電灯・ヘッドライト
 - 乾電池
 - 衣類
 - タオル
 - 非常用簡易寝袋
 - 雨具(かっぱ)
 - 簡易携帯トイレ
 - お薬手帳
 - 笛
 - マスク
 - 除菌シート・消毒液
 - 現金(小銭多めに)
 - 健康保険証のコピー など
- ※家族構成に応じて、薬など必要なものを追加しましょう



避難所の環境を改善します

市はこれまで、●感染症対策のためのテント、●高齢の人が避難した際の身体的負担を軽減するためのエアベッドなど、避難場所へ資材や機材(資機材)を配備し、快適に過ごせるよう環境改善を図ってきました。

- 今年度は、これまでのものに加え、新たに次の資機材を配備していきます。
- Wi-Fi ルーター
 - 車いす対応型の組立式仮設トイレ(右写真・イメージ)
 - 扇風機
 - ポータブル電源



出展:マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン

避難所を知って、いざというときは、ためらわず避難したいね!



【申し込み方法】

まずは、事前相談書(位置図、現地写真も)を、直接か電子メール、郵送「〒730-8586 河川防災課」(住所不要)で、同課へ。原則、受け付け順に現地調査・立ち会いを実施。事前相談書、電子メールアドレスは、市ホームページ(各上記)、同課、区役所などで

* 上記のほか、土砂災害特別警戒区域内の建物の区域外への移転や外壁補強の補助について、本紙7ページに掲載しています